

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-70798**(P2016-70798A)**(43) 公開日 **平成28年5月9日(2016.5.9)**

(51) Int. Cl.		F I		テーマコード (参考)
GO 1 N 33/68 (2006.01)		GO 1 N 33/68		2 GO 4 5
GO 1 N 33/543 (2006.01)		GO 1 N 33/543	5 9 7	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2014-200824 (P2014-200824)	(71) 出願人	504013775 学校法人 埼玉医科大学 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
(22) 出願日	平成26年9月30日 (2014. 9. 30)	(74) 代理人	100107515 弁理士 廣田 浩一
		(74) 代理人	100107733 弁理士 流 良広
		(74) 代理人	100115347 弁理士 松田 奈緒子
		(74) 代理人	100163038 弁理士 山下 武志
		(72) 発明者	三村 俊英 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 学校 法人埼玉医科大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ベーチェット病の判定を補助する方法、及びベーチェット病の活動性の評価を補助する方法

(57) 【要約】

【課題】 ベーチェット病であるか否かを簡便に、高い精度で判定することができるベーチェット病の判定を補助する方法、ベーチェット病の活動性を簡便に、高い精度で評価することができるベーチェット病の活動性の評価を補助する方法を提供すること。

【解決手段】 末梢血中の好中球及び $\gamma\delta$ T細胞の少なくともいずれかにおける、ヒストンH3リシン4のトリメチル化の度合い及びヒストンH3リシン27のトリメチル化の度合いの少なくともいずれかを測定する測定工程と、前記ヒストンH3リシン4のトリメチル化の度合いと、前記ヒストンH3リシン27のトリメチル化の度合いとの比、及び前記ヒストンH3リシン4のトリメチル化の度合いの少なくともいずれかを指標として、被験体がベーチェット病であるか否かの判定を補助する判定補助工程と、を含むベーチェット病の判定を補助する方法などである。

【選択図】 なし